

⑥道の駅もりおか渋民整備事業

受賞機関 盛岡市
国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

キーワード 盛岡・玉山の「農業」と「ひと」を紡ぎ持続可能な地域の拠点となる道の駅

全建賞審査委員会の評価ポイント

県内有数の交通量を誇る国道4号沿いに、盛岡市北部の玄関口として道の駅を整備し、眺望や石川啄木の魅力を活かし、農業と人をつなぐ地域拠点を目指した。基本設計時から地盤高さを見直し、切土量の低減によるコスト縮減を図りつつ、市産材の活用、地中熱利用の冷暖房導入によるCO₂排出量やランニングコストの縮減を考慮。さらに、地域の障がい者支援団体との意見交換を通じて、その内容を施設に反映させた点が評価された。

1. はじめに

道の駅もりおか渋民は、盛岡市中心部から車で約40分の距離にある市北部の玉山地域（旧玉山村）に位置し、西には岩手山、東には姫神山という秀峰に囲まれたロケーションである。盛岡市で初めての道の駅として、また、持続可能な地域づくりの拠点として、令和7年4月26日に開業した。



開業記念式典（4月26日）

2. 事業の概要

施設は岩手山と姫神山の眺望や田園風景を楽しめるランドスケープデザインとし、動線や視認性を高めた。また、近代日本を代表する歌人の石川啄木の生まれ育った場所として、隣接する石川啄木記念館と遊歩道でつなぎ、エリア一体で観光できる場所として整備するとともに、施設デザインに短歌をイメージした色を取り入れ、石川啄木の世界観を感じられる空間づくりとしている。

さらに、他の道の駅にはない特徴として、多様な人が参画し、地域の課題解決を図る対話と共創の場であるフューチャーセンターを整備した。産直・物販、レストラン、テナントが相互に連携するハブとして機能し、地域資源の魅力向上や関係人口の創出、持続可能な地域を目指している。



姫神山と道の駅施設

3. 事業の成果

オープンから5月末日までに約12万人の来場者があり、土日はもちろん、平日も昼食時を中心に多くの来場者でにぎわっている。

産直・物販施設では、すぐに完売する人気商品が生まれ、テナントやレストランでも行列ができ、地域の魅力の発信に貢献しており、携わる生産者の意欲向上にもつながっている。



オープンとともに来場者でにぎわう産直・物販施設

4. おわりに

道の駅を中心に、石川啄木記念館や近隣商業施設を含むエリアが大いににぎわいを見せており、注目を集めている。引き続き、エリアの魅力を高めるため、関係機関と連携した企画などを実施し、にぎわいの創出に取り組んでいく。

また、フューチャーセンターを中心として「農業」と「ひと」がつながり、持続可能な地域を「つむぎあう」場所とすることで、持続可能な地域社会の実現を目指していく。

賛助会員 パシフィックコンサルタンツ(株)、樋下建設(株)